

序 MathLibre は DVD 起動 Linux ですが、DVD を ISO イメージファイルとしてハードディスクに置き、仮想化ソフトウェアを用いて仮想環境を作ると、Windows や Mac を使いながら同時に利用することができます。以下に紹介する仮想環境 mathlibre-ja-vm.zip は既に設定済みですので、継続的なホームディレクトリやパッケージの追加インストールも可能です。ISO イメージファイルとホームディレクトリのため、約 12GB 以上の空き容量が必要です。

仮想化ソフトウェアとして、オープンソースソフトウェアの VirtualBox を利用します。VirtualBox は既存のオペレーティングシステム上のアプリケーションの一つとしてインストールされ、この中で追加のオペレーティングシステムを動かすことができます。

仮想環境作成に必要なファイルは DVD 内のフォルダ vbox にまとめてあります。

VirtualBox のインストール ここでは Windows 上で MathLibre を動かす方法を解説します。Mac OS X の場合は必要なファイルをダウンロードすることで同様に可能です。

1. MathLibre DVD 内の VirtualBox-4.3.22-98236-Win.exe もしくはネット上から最新版を取得し、管理者権限で実行してインストールします。
2. MathLibre DVD 内のファイル mathlibre-ja-vm.zip をドキュメント等の適当な場所に展開します。展開されたフォルダを mathlibre-ja-vm とします。

DVD の ISO イメージを取得 ISO イメージの取得方法として「ダウンロード」と「DVD から作成」の 2 通りの方法があります。

「ダウンロードして取得」 ネットワーク環境が整っている場合には、<http://www.mathlibre.org/> より最新版の ISO イメージファイル（約 4GB）をダウンロードしてください。ダウンロードしたら、先ほどのフォルダ mathlibre-ja-vm 内に移動させて、ファイル名を mathlibre.iso に変更してください。「DVD から作成」 ネットワーク環境がない場合でも MathLibre DVD を使うことができれば、ISO イメージを作成できます。DVD に Windows アプリケーション InfraRecorder を同梱しています。InfraRecorder を用いてハードディスク上に

MathLibre DVD の ISO イメージを作成します。

1. MathLibre DVD 内の ir053_portable_x64.zip を適当な場所に展開します。
2. ir053_portable_x64 内にある infrarecorder.exe を実行します。
3. Read Disc を選択します。
4. Source:として DVD ドライブが選択されているはずですが。
5. Image file:として、先ほどのフォルダ mathlibre-ja-vm 内に mathlibre.iso を指定します。
6. OK ボタンを押すと、DVD の複製が始まります。
7. 約 4GB の ISO イメージファイルを作成するのに約 15 分ほどかかります。

仮想環境の起動 すべての作業を終えたら、mathlibre-ja-vm 内の mathlibre-ja-vm.vbox をダブルクリックして VirtualBox を起動してください。起動ボタンを押すと仮想環境が起動します。

共有フォルダの作成

1. VirtualBox の設定アイコンから「共有フォルダー」の<+>アイコンをクリックし、「フォルダーのパス」で共有したいフォルダーを指定、表示される「フォルダー名」（この名前は変更可能です。仮に X とします。）を控え、「自動マウント」（および、もしあれば「永続化する」）にチェックを入れ、「OK」をクリックしてください。
2. 仮想マシン上では、/media/sf_X にマウントされます（X は先に控えたフォルダー名）。この共有フォルダーを仮に Y という名前でシンボリックリンク（ショートカットのようなもの）を作成します。端末で以下の命令を入力してください。

```
ln -s /media/sf_X Y
```

3. ログアウト後、再ログイン（ユーザ名:user, パスワード live）すれば

```
ls Y
```

のようにアクセスできます。もちろんファイルマネージャ PCManFM で GUI の利用も可能です。